

CASBEE[®]新潟

評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(B/E対応)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新潟一番堀通町PJ	階数	地上10F
建設地	新潟県新潟市中央区	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	70人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	24時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 竣工	評価の実施日	2017年3月10日
敷地面積	547 m ²	作成者	細海拓也
建築面積	288 m ²	確認日	
延床面積	2,643 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み (オンサイト手法): 94%

④ 上記+ オフサイト手法: 94%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 プロジェクトは新潟市中心市街地の一画であり市街地の活性につながる都会的デザインを目指した。又、都市環境の悪化を防ぐ目的として設備機器は高効率製品の採用を図る。	その他	
Q1 室内環境 居室に大きな開口部を設けることによって十分な自然光を取り入れるように配慮した。住戸内の仕上は全面的に科学物質放散量が少ない材料を使用し、シックハウスに対する配慮をした。	Q2 サービス性能 配管材料に耐用年数の長いものを使用し更新間隔の長期化に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 市中心街地にふさわしくモダンなデザインとすることで街並みや景観に配慮した。
LR1 エネルギー 効率の高い設備機器及び照明器具を使用することで消費エネルギーの削減に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料を使用し、解体時の環境負荷削減に配慮した。	LR3 敷地外環境 市中心街地であるため周辺環境が悪化しないよう制限を越える計画とならないよう配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい